

JICA (独立行政法人 国際協力機構)



JICA建設技術・活用応用セミナー

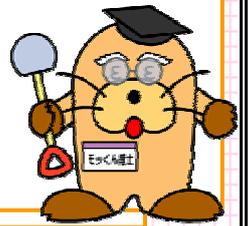
平成18年6月13日、揚山トンネルの工事現場で『JICA』の研修会が行われ、アフガニスタン、アルゼンチン、ケニア、モンゴル、タンザニア、ベトナムの6カ国から7名の方が建設技術を学びに来られました。



JICAとは？

JICAは、政府が開発途上国に技術協力や資金援助を行う、ODA(政府開発援助)の中で、主に「技術協力」の分野での活動を実施しています。開発途上国の問題に直接タッチするのではなく、開発途上国の人々が自らの手で問題解決を図れるよう人材育成などを行っています。

開発途上国の行政官や技術者を日本に招いて研修を行ったり、日本から専門的な技術・知識を持った人たちを派遣したり。また、その国の開発計画作りのお手伝いやアドバイスも行っています。



東広島・呉自動車道

揚山トンネル 現場見学会

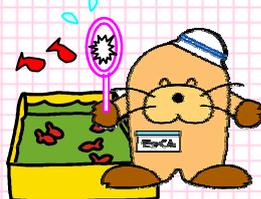
平成18年6月

平成18年6月1日には、広島大学工学部(建設・環境系)の学生113名が、午前と午後の2班に分かれて見学に来られました。



見学された学生の中でも生態系の研究をされている方は、東広島・呉自動車道で取り組んでいる、地球にやさしい「エコロード」について特に興味を持たれた様子で熱心に質問されていました。

工事をすることによって現場周辺の環境を壊してしまうことがないように、あらゆる生き物の生態系に配慮しながら進めている事業の内容に感心されている様子でした。



広島大学工学部(建設・環境系)